

## 令和2年度第1回燕市食物アレルギー対応委員会 会議録（要旨）

日 時：令和2年7月8日（水） 15時30分から 16時30分

場 所：燕市役所 会議室 301

出席委員：松野委員、伊東委員、松本委員、若林委員、坂内委員、宮口委員、解良委員  
落合氏（燕市食物アレルギー対応委員会設置要綱第6条第2項の規定より出席）

事務局：教育長、教育次長、主幹、学校教育課長、子育て支援課長、他職員3名

議 題：（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について  
（2）幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について  
（3）児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について  
（4）その他  
新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について  
園、学校等の現場から

### 【以下、会議録（要旨）】

#### 議 題

（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

- ① 各小・中学校の食物アレルギー給食対応の児童生徒数  
平成28年度から令和2年度までの、アレルギー対応食児童生徒数の説明をした。
- ② エピペン®処方者の人数  
平成28年度から令和2年度までの、エピペン®を処方されている児童生徒数の説明をした。
- ③ 学年別食物アレルギー対応食児童生徒数  
学年別の食物アレルギー代替食対応している児童生徒数を説明した。
- ④ 食物アレルギー等の発症について  
令和2年1月1日から令和2年5月31日までの給食における食物アレルギーの状況について説明した。（2件）
- ⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修  
令和2年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の実施状況及び今後の予定を説明した。
- ⑥ 食物アレルギー対応書類の様式について
  - ・学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン改訂に伴い、「学校生活管理指導表」の様式を変更することを説明した。
  - ・「食物アレルギー調査票」の見直しについて説明した。

#### ○委員（意見）

食物アレルギーの診断は、きちんとした問診を行い、必要があれば経口負荷試験を行う必要がある。また、少量食べられる場合でも、今の対応からすると完全に除去する必

要があるため、症状がでなくてもこのまま制限する対応を続けていくことがよい。

○委員（意見）

本来ならばどの子も経口負荷試験を実施できれば良いが、試験に時間がかかるため長期休業でないと実施しにくい。ナッツ類などは種類一つひとつを食べて確認していくが時間的制約がある。

○事務局

管理体制が取れていなかった点は反省し、きちんとチェック体制など漏れがないよう緊張感をもって対応していきたい。

○委員（意見）

誤食があったときは、保護者から主治医に報告してもらいたい。誤食により食べて大丈夫だったことが分かれば、その後アレルゲンの解除にもつながる場合がある。

(2) 幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

- ① 各園の食物アレルギー給食対応の園児数  
平成 28 年度から令和 2 年度までの、アレルギー対応食園児数の説明をした。
- ② エピペン®処方者の人数  
平成 28 年度から令和 2 年度までの、エピペン®を処方されている園児数の説明をした。
- ③ クラス別食物アレルギー対応食園児数  
クラス別の食物アレルギー対応している園児数を説明した。
- ④ 食物アレルギー等の発症について  
令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 5 月 31 日までの給食における食物アレルギーの状況について説明した。(誤食、新規発症はなし)
- ⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修  
令和 2 年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の実施状況及び今後の予定を説明した。
- ⑥ 生活管理指導表の様式の変更について  
変更事項を説明した。

(3) 児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

- ① 児童クラブの食物アレルギー対応の児童数  
平成 28 年度から令和 2 年度までの、アレルギー対応食児童数の説明をした。

② エピペン®処方者の人数

平成 28 年度から令和 2 年度までの、エピペン®を処方されている児童数の説明をした。

③ 食物アレルギー等の発症について

令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 5 月 31 日までの給食における食物アレルギーの状況について説明した。(1 件)

④ 食物アレルギー事故を防止するための対応

令和 2 年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の実施状況及び今後の予定を説明した。

(4) その他

《事務局説明》

新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について

① 給食提供回数及び中止になった回数

② 新年度における食物アレルギー対応について

【小・中学校】

- ・新年度の打合せ会について
- ・食物アレルギー対応の学級指導について
- ・教職員の研修について

【幼稚園・保育園・こども園】

- ・4 月の給食提供について

○委員（意見）

新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について、児童クラブの対応について記載がないが、誤配のミスもあったので、なんらかの対応策があってもよかったのではないか。

○事務局（回答）

特に新 1 年生の対応など、情報共有や職員間の引継ぎを確実にやっていくよう再度職員に伝えていく。また、新型コロナウイルス感染症対策予防の対策として、定期的な換気や清掃に加え、おやつの中には机や席の配置を工夫し、飛沫感染を防止するための対策を実施している。

○委員（意見）

救急搬送など緊急時には、通信時や救急隊の員到着した時に症状や経過などを確認するが、マニュアルにも記載してある様式を使用し、速やかな救急搬送につながるよう情報提供の協力をお願いしたい。

4 月 1 日から本日まで食物アレルギーで救急搬送された事例が 1 件ある。幼児が自宅で誤食した件で、幸いにも軽症だった。

○委員（意見）

改めて誤食、誤配の防止に努めたい。学校での対応食の確認は当日7～8人で声に出して行っている。低学年は担任だけでなく、2人体制で給食準備の間に教室に入り対応している。また、対応食の有無にかかわらず、当該児童が給食を開始し、確認してから場を離れる対応をしている。今日の内容を教職員に周知していく。

○委員（質問）

誤食については情報共有をしっかりと行って、間違いがないよう対応していきたい。物資選定を行う中でカルシウム強化を目的に貝カルシウムが添加されているものが増えてきた。貝アレルギーがある子は除去する対応となるのか、卵の卵殻カルシウム同様に対応していいのか、情報があったら教えてほしい。

○委員（回答）

成分として何がどのくらい入っているか分からないため、正確には即座に回答はできないが調べておく。

○委員（質問）

園では朝のミーティングで全職員に除去食の確認をすることから始まる。おやつ、給食を提供するたびに調理師、保育士で声を掛け合って誤食がないように対応している。今後も気を緩めることなく、適切に対応できるよう園長会でも話を出して確認していきたい。

閉会